

たかはた戦国浪漫〜二人の政宗物語〜

YBC 25日【後2・30】

空前の直江兼続ブームにより歴史ファンの注目を集めている置賜地方。戦国ロマンあふれる高島町の歴史を訪ね歩く「たかはた戦国浪漫〜二人の政宗物語〜」をYBCで25日に放送する（午後2・30〜3・00）。

兼続と同時代を生きた戦国武将の中で特に人気が高いのが「独眼竜」で知られる伊達政宗。仙台のイメージが強い政宗だが、実は高島町との縁が深い。米沢で生まれた政宗は幼少期を高島町の資福寺で過ごし、虎哉和尚に厳しい教育を受けた。伊達家の歴史をひもとくと高島は伊達家8代当主・宗遠から14代植宗までの約150年間、7代にわたって居城を置いた地。伊達家の礎はここで作り上げられたといえる。そして伊達政宗の「政宗」は伊達家中興の祖と言われる9代当主・儀山政宗にあやかったものといわれ、その墓は今も高島町に残っている。

今回町を巡るのは、町に残る伊達家の歴史とまちづくりに提言を行ってきた高島町在住で宮城大学事業構想学部教授の宮原育子さんとナビゲーターの古池常泰。伊達家にまつわる町の史跡などを訪ね歩き、テレビ初公開の貴重な伊達家墓発見の証拠となる資料に触れるなど、戦国ロマンに思いをはせながら、合わせて観光情報を発信していく。

戦国  
武将

## 2人の政宗 薫るロマン

### ゆかりの高島探訪



左から宮原育子教授、古池常泰